



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月13日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
コード番号 7776 URL <https://www.cellseed.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 畑中 格 TEL 03-6380-7490
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	76	13.9	△464	-	△463	-	△474	-
2023年12月期中間期	66	△10.2	△359	-	△366	-	△363	-

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	△14.74	-
2023年12月期中間期	△13.29	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	2,427	2,117	86.4
2023年12月期	2,465	2,164	86.9

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 2,096百万円 2023年12月期 2,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170	△10.5	△920	-	△920	-	△940	-	△28.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2024年12月期中間期	33,447,119株	2023年12月期	31,459,019株
2024年12月期中間期	156株	2023年12月期	156株
2024年12月期中間期	32,194,747株	2023年12月期中間期	27,380,045株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
中間会計期間	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善するなど緩やかな回復基調が持続しているものの、不安定な国際情勢、歴史的な円安、資源・原材料価格の高騰に伴う物価上昇が続いており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社はこのような環境の下、コスト削減による財務体質の改善と安定的な財務基盤の確立を図りつつ、再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。

この結果、当中間会計期間における売上高は76,303千円（前年同期比9,337千円の増加）、営業損失は464,170千円（前年同期比104,954千円の増加）、経常損失は463,355千円（前年同期比96,675千円の増加）、中間純損失は474,459千円（前年同期比110,501千円の増加）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業(細胞培養器材、製造受託など)

細胞培養器材事業では、器材製品の拡販に向けた既存代理店との更なる協業強化、積極的な販売促進活動に取り組んだ結果、特に海外代理店からの受注が堅調に推移し、売上高は前年を上回る結果となりました。

当社細胞培養センターを活かした再生医療を支援する再生医療受託事業については、成育医療研究センターより小児食道シートの製造を受託し、上期は前年並みの1症例の売上に留まりましたが、下期以降においては、複数症例の売上を計上する見込みです。また、引き続き他の医療機関からの受託案件の獲得にも注力して参ります。

以上のような活動の結果、売上高は75,086千円（前年同期比13,067千円の増加）、営業損失は18,715千円（前年同期比8,947千円の減少）となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、同種軟骨細胞シートの再生医療等製品の自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

同種軟骨細胞シートは、2023年9月20日に、同種軟骨細胞シート(CLS2901C)の第3相試験の治験届をPMDAに提出し、PMDAによる治験届の30日調査が終了しました。治験審査委員会(IRB)を経て、各治験実施施設との契約を締結しましたが、当初の予定より症例登録に時間を要しており、現在、各治験実施施設において手術を行える体制を整えております。

事業提携活動につきましては、事業化の加速、また将来の同種軟骨細胞シートの販売に向けて、引き続き複数の会社との事業提携及び共同研究契約の締結に向けた活動を積極的に行っております。なお、2023年12月に公表のとおり、独占的事業提携契約を締結しておりました「三顧股份有限公司(MetaTech(AP) Inc.)」と契約関係を解消しましたが、今後も、引き続き新規の提携契約を獲得できるように努めてまいります。

以上のような活動の結果、売上高は1,217千円（前年同期比3,730千円の減少）、営業損失は332,108千円（前年同期比96,523千円の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べて45,829千円減少し、2,305,981千円となりました。これは、現金及び預金が10,987千円増加した一方で、売掛金が24,628千円減少したことなどによります。

当中間会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べて7,692千円増加し、121,649千円となりました。これは、投資その他の資産が7,692千円増加したことによります。

この結果、当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて38,137千円減少し、2,427,631千円となりました。

(負債)

当中間会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べて13,889千円増加し、137,458千円となりました。これは、買掛金が3,511千円増加したことなどによります。

当中間会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べて4,329千円減少し、173,148千円となりました。これは、長期借入金が4,375千円減少したことなどによります。

この結果、当中間会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて9,560千円増加し、310,607千円となりました。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて47,697千円減少し、2,117,023千円となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ213,967千円増加した一方で、中間純損失を474,459千円計上したなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べて10,987千円増加し2,174,279千円となりました。当中間会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動に使用した資金は405,048千円(前年同期比56,662千円の支出増)となりました。これは、税引前中間純損失473,314千円を計上したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動に使用した資金は6,191千円(前年同期比23,881千円の獲得減)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出6,191千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動の結果獲得した資金は422,227千円(前年同期比425,589千円の獲得減)となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入425,977千円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年2月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,163,292	2,174,279
売掛金	51,871	27,243
商品及び製品	15,398	14,972
仕掛品	4,289	10,729
原材料及び貯蔵品	26,504	23,040
その他	90,454	55,715
流動資産合計	2,351,811	2,305,981
固定資産		
投資その他の資産	113,957	121,649
固定資産合計	113,957	121,649
資産合計	2,465,768	2,427,631
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,778	7,290
1年内返済予定の長期借入金	7,500	8,125
賞与引当金	4,064	4,356
その他	108,225	117,687
流動負債合計	123,569	137,458
固定負債		
長期借入金	143,750	139,375
資産除去債務	33,728	33,773
固定負債合計	177,478	173,148
負債合計	301,047	310,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,384,311	2,598,278
資本剰余金	1,363,892	1,577,859
利益剰余金	△1,606,214	△2,080,673
自己株式	△227	△227
株主資本合計	2,141,761	2,095,236
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	1,459
評価・換算差額等合計	—	1,459
新株予約権	22,959	20,327
純資産合計	2,164,721	2,117,023
負債純資産合計	2,465,768	2,427,631

(2) 中間損益計算書
(中間会計期間)

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	66,966	76,303
売上原価	28,546	34,580
売上総利益	38,419	41,723
販売費及び一般管理費		
研究開発費	233,575	322,338
その他	164,059	183,555
販売費及び一般管理費合計	397,635	505,893
営業損失(△)	△359,215	△464,170
営業外収益		
受取利息	5	10
為替差益	1,279	2,936
その他	114	439
営業外収益合計	1,399	3,386
営業外費用		
支払利息	388	1,036
新株発行費	8,476	1,536
営業外費用合計	8,864	2,572
経常損失(△)	△366,680	△463,355
特別利益		
新株予約権戻入益	609	2,055
関係会社株式売却益	15,759	—
特別利益合計	16,369	2,055
特別損失		
減損損失	13,172	12,014
特別損失合計	13,172	12,014
税引前中間純損失(△)	△363,483	△473,314
法人税、住民税及び事業税	475	1,145
法人税等合計	475	1,145
中間純損失(△)	△363,958	△474,459

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失(△)	△363,483	△473,314
減価償却費	3,995	—
減損損失	13,172	12,014
受取利息	△5	△10
支払利息	388	1,036
新株発行費	8,476	1,536
新株予約権戻入益	△609	△2,055
関係会社株式売却損益(△は益)	△15,759	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,603	24,628
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,753	△2,550
その他の流動資産の増減額(△は増加)	9,013	28,506
仕入債務の増減額(△は減少)	5,675	3,511
未払金の増減額(△は減少)	22,203	8,409
前受金の増減額(△は減少)	△39,013	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	413	291
その他の流動負債の増減額(△は減少)	8,629	△5,089
小計	△347,054	△403,086
利息の受取額	4	8
利息の支払額	△388	△1,023
法人税等の支払額	△948	△947
営業活動によるキャッシュ・フロー	△348,386	△405,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,942	△6,191
関係会社の整理による収入	2,127	—
関係会社株式の売却による収入	29,505	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,689	△6,191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△4,375	△3,750
新株予約権の行使による株式の発行による収入	850,191	425,977
新株予約権の発行による収入	2,001	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	847,817	422,227
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	517,120	10,987
現金及び現金同等物の期首残高	1,072,210	2,163,292
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,589,331	2,174,279

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当中間会計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ213,967千円増加しております。

以上の結果、当中間会計期間末における資本金は2,598,278千円、資本剰余金は1,577,859千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,018	4,947	66,966	—	66,966
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	62,018	4,947	66,966	—	66,966
セグメント損失(△)	△27,663	△235,584	△263,248	△95,966	△359,215

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△95,966千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当中間会計期間においては、13,172千円であります。

II 当中間会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,086	1,217	76,303	—	76,303
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	75,086	1,217	76,303	—	76,303
セグメント損失(△)	△18,715	△332,108	△350,824	△113,346	△464,170

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△113,346千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「再生医療支援事業」セグメントにおいて133千円、各報告セグメントに配分していない全社資産において11,881千円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間会計期間においては、12,014千円であります。

(重要な後発事象)

(新株予約権の行使による増資)

1. 当社が2023年6月5日に発行した第24回新株予約権につき、2024年7月1日に、以下の通り行使されました。なお、本新株予約権は、2024年7月1日をもって全ての行使が完了しました。

(1) 新株予約権行使の概要

- ① 新株予約権の名称
株式会社セルシード第24回新株予約権
- ② 行使価格
1株当たり339円
- ③ 行使新株予約権個数
11,354個
- ④ 行使者
パークレイズ・バンク・ピーエルシー (Barclays Bank PLC)
- ⑤ 交付株式数
1,135,400株
- ⑥ 行使価額総額
385,854千円

(2) 当該新株予約権行使による発行済株式数及び資本金

- ① 増加する発行済株式数
1,135,400株
- ② 増加する資本金の額
193,091千円

2. 当社が2015年8月31日に発行した第14回新株予約権につき、2024年7月1日から2024年8月9日までの間に、以下の通り行使されました。

(1) 新株予約権行使の概要

- ① 新株予約権の名称
株式会社セルシード第14回新株予約権
- ② 行使価格
1株当たり705円
- ③ 行使新株予約権個数
550個
- ④ 行使者
第14回新株予約権の割当対象者である当社取締役
- ⑤ 交付株式数
55,000株
- ⑥ 行使価額総額
38,775千円

(2) 当該新株予約権行使による発行済株式数及び資本金

- ① 増加する発行済株式数
55,000株
- ② 増加する資本金の額
19,580千円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前事業年度末の手元資金（現金及び預金）残高は2,163,292千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社は当中間会計期間末において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社は当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社は、今後、同種軟骨細胞シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。